

おりひめちゃんが行く!

交野戦国絵巻 二の巻

問い合わせ 社会教育課文化財係 (TEL 893・8111)



私部城を巡る地名

私部城が建っていた場所を「城」と言います。その中で、本郭、二郭が建っていた場所は、それぞれ「城」、「天守」と呼びます。これらは江戸時代に名付けられました。

城の東側は「市場」と言い、光通寺に残る古文書から、城よりも古い地名であることが分かっています。また、城のすぐ南側には「出屋敷」（上写真）という地名が残っています。名の由来は、一説として、私部城の武士たちが城から出て、屋敷を構えたためと言われています。

この付近は、東高野街道や磐船街道、私部街道が通っており、京都・摂津・河内・大和を結ぶ交通の要所で、室町時代には光通寺を中心に栄えていました。

また、まちの中心であったことから、戦国時代になり、この場所に私部城が建てられたと考えられています。

私部地域 ～城・出屋敷・札辻・市場～



市場橋に地名の名残があります。

人の往来が多く、高札（平安時代から明治時代初期まで使われていた掲示板）を立てるには、絶好の場所でした。札辻とは、この高札が掲げられた場所のことです。



おりひめちゃんの歴史コラム

私部城にあった「天守」とは？

現在「天守」は、大坂城や姫路城のように、城の象徴的な建物となっています。私部城の二郭にそのような天守はありませんでしたが、二郭の付近からは、私部城が建っていた時代の瓦が出土しています。戦国時代には、瓦は立派な建物や櫓に葺かれるものでした。「井楼」（物見櫓）を天守の起源の一つとする説があり、二郭のあった場所が天守と名付けられているのは、そのためかもしれません。



広報かたの編集と発行

No.744

交野市役所総務部情報課 〒576-8501 大阪府交野市私部1丁目1番1号
TEL 072-892-0121 FAX 072-891-5046 テレホンサービス 072-892-1599

発行：2014年5月1日